

交流・体験的活動

【全校ほーやん集会】

11月の全校集会では世界人権宣言を取り上げ、「人権とは何か」「お互いを尊重する大切さ」について考えました。さらに、各クラスで話し合い、小学校低学年では「優しい言葉を使う」、中学年では「思いやりの行動」、高学年や中学生では「個性の尊重と多様性の受け入れ」などについて考え、具体的な行動目標を設定しました。この取り組みを通じて、児童生徒はそれぞれが人権について理解を深めました。



【5年生校外学習】

5年生はTOYOTA工場見学に行きました。見学前には、中学2年生と交流会を実施し、「見学時の注目点」や「準備のコツ」のアドバイスをもらい、見学計画を見直しました。見学当日は、自動車製造ラインでのロボットを取り入れた安全性の向上や効率化の工夫、そして環境に配慮した製造工程に感心し、企業活動と環境保全の両立について考えるきっかけを得ました。



【中3保育実習】

中学3年生は、家庭科の授業の一環としてオイスカ日本語幼稚園で園児たちとの交流活動を行いました。折り紙や塗り絵、簡単なゲームなどを通じて楽しい時間を過ごし、園児たちから「楽しかった!」と感謝の声をもらいました。園児たちとの交流を通して、生徒たちは他者と関わる喜びを実感していました。



本校では、様々な体験的な学習を通して、将来国際社会の中で生きる力を高めています。日系企業、教育施設の皆様には、子どもたちの豊かな学びのために貴重な学習の場を提供していただき、感謝申し上げます。